

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 実施機関：茨城県教育研修センター
コラボ研修プログラム	テーマ： 学びやすいオープンな場としてのオンライン研修
支援事業報告書	研修等名： NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修 スクールマネジメントを考える Online Learning ～子供が育つ学校を支えるマネジメントを考える～
	開催日時： 第1回：令和3年11月16日（火）13:30～15:30 第2回：令和3年11月29日（月）13:30～15:30 第4回：令和3年12月13日（月）14:30～16:00 開催場所：茨城県教育研修センター（茨城県笠間市平町1410） 参加人数（総数）と参加者の属性：（362人）小・中学校・義務教育学校教員172人、高等学校教員20人、特別支援学校教員16人、公立教育研究所・教育委員会職員138人、大学生10人、その他6人

**内容：**茨城県教育研修センターのWebページでの告示や各都道府県の教育研修センター、茨城県内の県立・公立学校、各教育関係機関に呼びかけ、全国から多くの方々に参加いただいた。

- 第1回：今後の学校におけるキャリア教育の在り方について  
筑波大学教授 藤田 晃之
- 第2回：令和の日本型学校教育の目指す姿～個別最適な学びと協働的な学びの実現～  
独立行政法人教職員支援機構理事長 荒瀬 克己
- 第3回：先生のためのコーチング  
別府大学客員教授 佐藤 敬子
- 第4回：児童生徒の実態に応じた学級づくり  
奈良教育大学教授 粕谷 貴志

**成果：**

本研修プログラムでは、4回の講演を実施した。

第1回の「今後の学校におけるキャリア教育の在り方」の講演アンケートには、「キャリア教育の歴史的背景から今日に至るまでをととも分かりやすく解説していただき、これから生きる子供たちにとっての必要性や重要性を感じました。」といった記述が見られた。このことから、講演内容を理解し、今後の学校での授業改善、校内研修に生かしていこうとする受講生の姿勢を感じることができた。

第2回の「令和の日本型学校教育の目指す姿」の講演では、「今後の日本の教育の在り方についての道しるべとすることができた。また、個別最適な学びについて、子供の視点に立って学力の進捗状況や興味・関心に沿って対応するよう心掛けたい。」といった感想が聞かれるなど、学びの多い研修となった。

第3回の先生のためのコーチングの講演では、「コーチングの基本的なスキルや質問力等とても分かりやすく丁寧な講義で、充実した時間になった。またGROWについて、職員研修等で共有したい。」などの意見が多く、分かりやすく理解することができ、実践につなげようとする意欲がみられた。

第4回の「児童生徒の実態に応じた学級づくり」の講演では、「よりよい学級づくりのための子供を理解する視点や手立て、理解に基づいた具体的な実践の視点を得られることができた。」という感想があった。このことから、講演内容をヒントに自身の実践に取り入れようとする姿勢が見られた。

**アイデアや工夫したこと：**

- ・双方向型のオンライン研修とすることで、主体的に参加できるようにした。
- ・講義後、任意参加による協議の場を設けた。今まで実践してきたこと、今回学んだこと、今後やってみたいことについて、リフレクションを行うことで、学びを深めるようにした。
- ・実施後、講義の様子をオンデマンド型で配信し、より広く受講できるようにした。

<写真・図など>

令和3年度 茨城県教育研修センター

## オンライン特別事業

開催日 令和3年度中に計16回実施

概要

- 1 NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修
  - (1) スクールマネジメントを考える Online Learning
  - (2) これからの学びを考える Online Learning
  - (3) GIGAスクール構想が実現する未来社会を語る座談会
- 2 茨城県教育研修センター公開講義（第3期）
- 3 茨城県教育研修センター長期研修生による研究発表
- 4 茨城大学教職大学院現職派遣教員による研究発表

実施方法 Web会議システム（Zoom）によるオンライン研修  
 またはYouTubeによるオンデマンド動画配信

令和3年度 茨城県教育研修センター

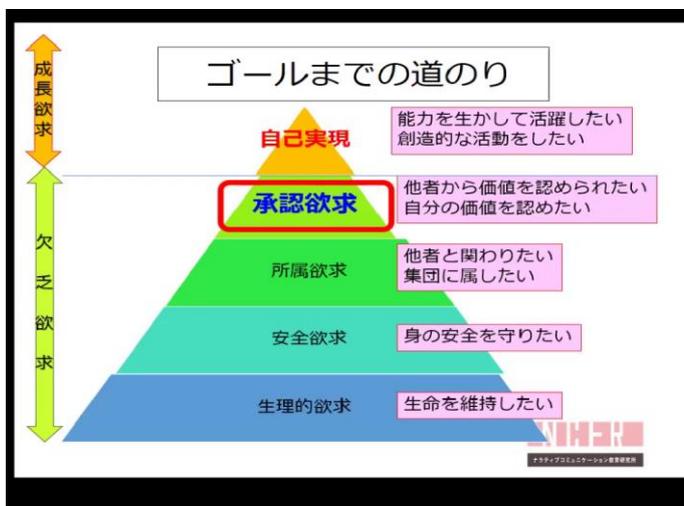
## オンライン特別事業

### 「今後の学校におけるキャリア教育の在り方について」

茨城県教育研修センターは、  
学び続ける教職員を応援します。



NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修



【「先生のためのコーチング」オンライン会議システムでの講義の様子】



【双方向で、講師と参加者が質疑応答をしている様子】